

施策評価シート

年度

6

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり		
基本施策	農林水産業の持続的発展		
取り組み事項	農業の振興を図る		
主管部局	建設農林部 農林水産課	関連部局	

めざす暮らしの姿

農林水産業の持続的発展

基本方針

担い手の育成を行うとともに、生産技術及び経営技術の向上に取組み、経営の安定化を図る。

施策の方針

担い手への農地利用の集積・集約化を推進するとともに、農業経営者育成のための技術、経営指導などを行い、農業経営の安定化と後継者の育成を図る。農地を守るため、シカ、イノシシなどの有害鳥獣対策を行うとともに、土地改良施設の維持管理を行い、農地の荒廃防止に努めます。メロン、ゆず、味噌などの特産品の安定的な生産を推進し、地域特産品の充実を図り、農産物直売所などを拠点とした全交流産業ネットワークを構築し、販売を促進する。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	5.6	4.9	5.18	5.58	4.91	1.16
会計年度任用職員数	1.21	1.21	1.21	1.21	1.21	0.0
人件費計	39,708,651	39,256,651	35,420,132	41,392,749	38,057,925	8,376,807
事業費計	154,080,625	126,964,054	143,365,921	124,375,862	146,346,000	24,351,000
フルコスト	193,789,276	166,220,705	178,786,053	165,768,611	184,403,925	32,727,807

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	1,420,000	1,456,000	1,456,000	1,456,000	1,456,000	0
県支出金	73,516,930	56,292,000	47,615,000	40,514,000	73,444,000	4,641,000
市債	18,800,000	23,200,000	35,800,000	22,600,000	18,600,000	0
その他	1,577,040	1,202,000	2,042,000	14,412,000	2,078,000	3,000
一般財源1	98,475,306	84,070,705	91,873,053	86,786,611	88,825,925	28,083,807
一般財源2	58,766,655	44,814,054	56,452,921	45,393,862	50,768,000	19,707,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【量】夢ある農村づくり推進事業補助件数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	8	9	9	9	9	9
単年度実績値	9	8	8	9		
単年度達成率	112.5%	88.88%	88.88%	100%	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【量】夢ある農村づくり推進事業補助件数
前年度との比較	↑：向上
所見	引き続き特産物の振興を図るため、補助を継続し、特産品の安定的な生産と販売促進を行う。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	050201010002	事務事業名	夢ある農村づくり推進事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	農業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市の特産品の創出や農産物直売所を維持するため、加工・販売施設等の整備、新商品開発支援や各集落活動を支援することで、農業振興を図る。		
対象	農家・集落		
目的	地元農産物・特産品の生産拡大、販路拡大等の支援や、集落が主体的に行う地域活動を支援することで、地域農業の活性化を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.56	0.56	0.38	0.32	0.24	0.24
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	3,800,471	4,283,931	2,465,406	2,241,241	1,733,132	1,733,132
事業費計	2,016,900	2,821,560	2,366,000	2,735,290	2,500,000	2,500,000
フルコスト	5,817,371	7,105,491	4,831,406	4,976,531	4,233,132	4,233,132

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	5,817,371	7,105,491	4,831,406	4,976,531	4,233,132	4,233,132
事業費計ー特定財源	2,016,900	2,821,560	2,366,000	2,735,290	2,500,000	2,500,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【数】夢ある農村づくり推進事業補助件数					
単位	団体					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	8	9	9	9	9	9
単年度実績値	9	8	8	9		
前年比	-	88.88%	100%	112.5%	-	-
単年度達成率	112.5%	88.88%	88.88%	100%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	補助件数1件あたりのフルコスト					
単位	1件あたりのフルコスト					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	727,171.375	789,499	536,822.8889	552,947.8889	470,348	470,348
単年度実績値	646,374.5556	888,186.375	603,925.75	552,947.8889		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	地域創生総合戦略の中にも組み込んでおり、地域資源を守り、特産品の開発・販売や直売所活動を継続的に維持・発展させるためには、市の関与は必要である。	なし
有効性	B:比較的有効である	品質安定のための機械や、圃場改善等に対して補助することにより、農産物の安定した販売につながった。	なし
効率性	B:比較的効率的である	安定した商品供給や生産拡大ができるよう、県普及センターやJA等関係機関と連携を図った。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	令和3年度より相生市伝統野菜継承への取組経費を助成することで、農業者の生産意欲を高めることにつながっている。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	イベント出展・メディア等を通じた活動により、広くPR活動を実施している。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	農業振興のため、細やかな支援ができるようニーズに沿った補助メニューを設置しているが、実績を踏まえ重点的に取り組む施策へ補助メニューの見直しを引き続き検討していく。
休止・廃止となったときの影響	

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C:改善・見直しの上で継続
所見	特産品の安定生産や新規就農者などの支援を継続するとともに、より効果的な補助メニューへと見直しを継続する。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	050201010004	事務事業名	上松農業共同作業所管理事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	農業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	地域農業の振興のため、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者のために共同で農機具等を使用する施設の管理を行う。		
対象	農家		
目的	地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立上松農業共同作業所の設置及び管理に関する条例		

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	203,596	229,496	194,637	280,155	288,855	288,855
事業費計	0	0	0	0	150,000	150,000
フルコスト	203,596	229,496	194,637	280,155	438,855	438,855

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	203,596	229,496	194,637	280,155	438,855	438,855
事業費計ー特定財源	0	0	0	0	150,000	150,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】乾燥調整量					
単位	袋					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
単年度実績値	751.5	789.5	587.5	550		
前年比	-	105.05%	74.41%	93.61%	-	-
単年度達成率	75.15%	78.95%	58.75%	55%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	1袋あたりのフルコスト					
単位	円/袋					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	203.596	229.496	194.637	280.155	438.855	438.855
単年度実績値	270.9195	290.6852	331.297	509.3727		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農家の営農に不可欠である。	なし
有効性	B:比較的有効である	現状の施設規模の範囲内で、効率的な作業を行った。	なし
効率性	B:比較的効率的である	指定管理者による運営とすることで効率的に施設を管理しており、コストの削減が図れている。	なし
改革・改善プラン達成度	C:改革改善効果が低い	指定管理者と連携し有効に施設利用できている。	なし
透明性	C:透明性が低い	一部の農業者の利用であり、利用者の拡大を図る必要がある。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。
休止・廃止となったときの影響	地域で廃業する農家が増加し、地域農業が衰退することとなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	指定管理者制度を活用し、施設の有効利用を維持する。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	050201010009	事務事業名	中山間地域等直接支払事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	農業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	国・県の補助金を活用し、補助事業を実施することにより、地域農業の振興を図る		
対象	農家		
目的	農業生産条件の不利な棚田の保全のため、補助をおこなう。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 中山間地域直接支払事業補助要綱		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.2	0.2	0.2	0.25	0.2	0.2
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	1,357,311	1,529,975	1,297,582	1,750,970	1,444,277	1,444,277
事業費計	2,781,512	2,778,658	2,565,596	2,550,525	2,809,000	2,809,000
フルコスト	4,138,823	4,308,633	3,863,178	4,301,495	4,253,277	4,253,277

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	2,089,835	2,132,000	2,112,000	2,112,000	2,091,000	2,091,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	2,048,988	2,176,633	1,751,178	2,189,495	2,162,277	2,162,277
事業費計ー特定財源	691,677	646,658	453,596	438,525	718,000	718,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】事業実施集落協定数					
単位	集落数					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	6	6	6	6	5	5
単年度実績値	6	6	6	6		
前年比	-	100%	100%	100%	-	-
単年度達成率	100%	100%	100%	100%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	1集落あたりのフルコスト					
単位	円/集落数					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	689,803.8333	718,105.5	643,863	716,915.8333	850,655.4	850,655.4
単年度実績値	689,803.8333	718,105.5	643,863	716,915.8333		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	国の制度を活用して集落の農地を守るため市の関与が必要である。	なし
有効性	B:比較的有効である	集落協定参加者で共同取り組みを行うことで、一定の成果が得られた。	なし
効率性	B:比較的効率的である	各地域において中山間地域等直接支払事業対象農地のうち、必要最低限の農地において国の制度を活用している。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	各集落で高齢化が進む中で、国の制度を最大限活用し集落の農地が守られており一定の成果が得られている。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	市が適正に制度周知や利活用を促すことで、集落内での負担軽減を図る。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	D:縮小
所見	農地管理者の高齢化や担い手不足により集落の負担が大きくなっているのが現状であり、人材不足により、制度の利用を取りやめる集落が出てきている。引き続き市が適正に制度周知や利活用を促すことで、集落内での負担軽減を図る必要がある。
休止・廃止となったときの影響	

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	中山間地域の農業を引き続き支援する。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	050201010011	事務事業名	ふるさと交流館管理事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	農業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	ふるさと交流館において、田植え体験や芋掘り体験などの色々な活動をおこなうことと、都市と農村の交流を図ることにより、地域の活性化を図る。		
対象	地域住民及び施設利用者		
目的	自然環境、歴史学習、農林業体験等を通じて、市民の自主的な学習活動と多様な交流の促進及び教養、文化の高揚並びに地域の農業振興を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立ふるさと交流館の設置及び管理に関する条例		

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.08	0.08	0.12	0.22	0.23	0.23
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	542,924	611,990	778,549	1,540,853	1,660,919	1,660,919
事業費計	9,971,569	9,372,332	8,750,832	15,202,992	8,327,000	8,327,000
フルコスト	10,514,493	9,984,322	9,529,381	16,743,845	9,987,919	9,987,919

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	13,000,000	0
フルコストー特定財源	10,514,493	9,984,322	9,529,381	3,743,845	9,987,919	9,987,919
事業費計ー特定財源	9,971,569	9,372,332	8,750,832	2,202,992	8,327,000	8,327,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】利用者数					
単位	利用者					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
単年度実績値	1,924	2,665	2,918	3,164		
前年比	-	138.51%	109.49%	108.43%	-	-
単年度達成率	34.98%	48.45%	53.05%	57.52%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	利用者1人あたりのフルコスト					
単位	円/人					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	1,911.726	1,815.3313	1,732.6147	3,044.3355	1,815.9853	1,815.9853
単年度実績値	5,464.9132	3,746.4623	3,265.7234	5,291.9864		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	この地域は市内でも特に少子高齢化が進んでおり、都市と農村の交流を図ることで地域の活性化を引き続き図る必要がある。	なし
有効性	B:比較的有効である	利用者の増加や飲食収入の確保等により、施設での利益確保が図れた。	なし
効率性	B:比較的効率的である	施設利用率が上昇しており、事業コストの削減が図れた。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	施設利用者へ提供する食事メニューの改善を行う等、サービス向上と利益を生み出す経営に努めた。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	市民を集い、じゃがいも収穫体験の実施などを行い、都市と農村の交流を図りPRIに努めている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	現在の指定管理者が効率的かつ有効的に施設運営を行い、利用率の向上を図ることができるよう、引き続き市との協力体制を強固なものにしていく。
休止・廃止となったときの影響	

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	指定管理者制度を活用し、利用者の確保に努めるとともに、施設の有効利用を図る。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	050201010012	事務事業名	有害鳥獣対策事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	農業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	野生動物の農作物被害は営農意欲の低下を招くなど大きな問題となっているため、兵庫県猟友会相生支部と連携し駆除活動や各種防護事業をおこなう。		
対象	農家		
目的	シカ・イノシシ等の有害鳥獣対策をおこなうことで農地の荒廃を防ぐ。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	法律・政令・省令 ・鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律 ・鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.4	0.4	0.43	0.46	0.45	0.45
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	2,714,622	3,059,950	2,789,801	3,221,785	3,249,624	3,249,624
事業費計	7,634,240	8,680,830	9,058,810	9,870,400	10,565,000	10,565,000
フルコスト	10,348,862	11,740,780	11,848,611	13,092,185	13,814,624	13,814,624

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	2,454,000	2,375,000	2,375,000	2,375,000	2,550,000	2,550,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,500	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
フルコストー特定財源	7,893,362	9,362,780	9,470,611	10,714,185	11,261,624	11,261,624
事業費計ー特定財源	5,178,740	6,302,830	6,680,810	7,492,400	8,012,000	8,012,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】鳥獣の捕獲頭数(有害捕獲活動期間)					
単位	頭数					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	300	290	290	290	350	350
単年度実績値	438	346	323	375		
前年比	-	78.99%	93.35%	116.09%	-	-
単年度達成率	146%	119.31%	111.37%	129.31%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	1頭あたりのフルコスト					
単位	円/頭数					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	34,496.2067	40,485.4483	40,857.2793	45,145.4655	39,470.3543	39,470.3543
単年度実績値	23,627.5388	33,932.8902	36,683.0062	34,912.4933		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	シカ・イノシシ等については、鳥獣被害防止特措法に基づいて市が被害防止を継続的に主体的におこなう必要がある。	なし
有効性	B: 比較的有効である	今後も事業を継続し、農作物被害を減少していく必要がある。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	県委託料・地元負担金をもとに事業を適正に執行している。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	電気柵等の資材経費に対する補助では、令和6年度より、補助対象をこれまでの農会等のほか、担い手や個人農家を加え、支援対象を拡大した。	なし
透明性	B: 比較的透明性を確保している	狩猟免許所持者を確保するため、広告媒体の掲示による啓発などにより、引き続き有資格者の育成を早期に図る必要がある。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	農作物の更なる減少を図るため、継続して有害鳥獣の駆除を推進していく必要がある。
休止・廃止となったときの影響	

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	継続して有害鳥獣の駆除を推進する。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	050201020001	事務事業名	林業振興事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	森林整備及び保全を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	林業技術の向上や特産品開発、生きがいつくりの目的として、林業経営にかかる学習・研究活動、共同事業などを行う。		
対象	市民及び市内在勤者		
目的	林産物の活用及び地域産業の伝承、その後継者の育成を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.24	0.85	0.73	0.46	0.46	0.46
会計年度任用職員数	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費計	1,642,855	6,517,041	4,751,156	3,240,885	3,343,333	3,343,333
事業費計	8,693,700	2,952,640	445,160	429,210	450,000	450,000
フルコスト	10,336,555	9,469,681	5,196,316	3,670,095	3,793,333	3,793,333

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	3,511,148	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	6,825,407	9,469,681	5,196,316	3,670,095	3,793,333	3,793,333
事業費計ー特定財源	5,182,552	2,952,640	445,160	429,210	450,000	450,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】林業教室の開催回数(年回予定回数60回)					
単位	回					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	60	60	60	60	60	60
単年度実績値	119	130	105	109		
前年比	-	109.24%	80.76%	103.8%	-	-
単年度達成率	198.33%	216.66%	175%	181.66%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	林業教室1回あたりのフルコスト					
単位	円/回					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	172,275.9167	157,828.0167	86,605.2667	61,168.25	63,222.2167	63,222.2167
単年度実績値	86,861.8067	72,843.7	49,488.7238	33,670.5963		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A:妥当性が高い	林産物の活用、林業技術の伝承及び後継者の育成に取り組んでいる。	なし
有効性	B:比較的有効である	林業教室では、年間を通じた活動を行い、参加者の知識の習得や技術の定着に取り組んでいる。	あり
効率性	B:比較的効率的である	予定回数以上の林業教室を開催しているため、効率的に運営が行われているが、参加者が減少傾向である。	あり
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	4半期毎に各教室から報告書を提出してもらっており、事業内容の確認を行っている。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	林業教室の募集は市の広報で行い、PRが図られている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	林業教室を開催することにより、林業技術の伝承や後継者育成につながっている。
休止・廃止となったときの影響	林業の技術の伝承や後継者育成を行う機会が減少する。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	森林に触れ、林業技術を習得する機会であり、林業振興にとって有用である。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	050201020002	事務事業名	羅漢の里管理事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	森林整備及び保全を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	建物及び附帯設備の修繕等に対応するほか、指定管理者と連携し、羅漢の里の適正かつ円滑な運営を図る。		
対象	市民		
目的	羅漢の里を整備、管理し、自然環境の中で憩いと安らぎの場を提供する。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.15	0.2	0.2	0.19	0.19	0.19
会計年度任用職員数	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
人件費計	1,060,229	1,573,915	1,342,526	1,388,037	1,436,548	1,436,548
事業費計	10,443,284	81,871,836	17,634,732	34,731,212	19,927,000	19,927,000
フルコスト	11,503,513	83,445,751	18,977,258	36,119,249	21,363,548	21,363,548

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	40,000,000	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	4,000,000	7,000,000	25,000,000	10,000,000
フルコストー特定財源	11,503,513	39,445,751	11,977,258	11,119,249	11,363,548	11,363,548
事業費計ー特定財源	10,443,284	37,871,836	10,634,732	9,731,212	9,927,000	9,927,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】羅漢の里の施設利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		11,500	12,300	13,500	14,370	15,200
単年度実績値	12,123	15,074	18,037	16,744		
前年比	-	124.34%	119.65%	92.83%	-	-
単年度達成率	-	131.07%	146.64%	124.02%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	利用者数一人当たりのフルコスト					
単位	人/円					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		7,256.1523	1,542.8665	2,675.4999	1,486.677	1,405.4966
単年度実績値	948.8999	5,535.7404	1,052.1294	2,157.1458		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	自然と安らぎを与える場であり、自然と触れ合い親しめることもあり、市民のみならず、市外からもニーズが高い。	なし
有効性	B:比較的有効である	指定管理者による自主事業が実施されることにより、更なる市民サービスの向上へと繋がっている。	なし
効率性	B:比較的効率的である	指定管理者制度を活用し、効率的に運営されている。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	令和6年度では、遊具の更新やドッグランの設置等を行ったが、コテージ等の施設の老朽化が進んでおり、これらについても引き続き計画的な修繕や更新を図っていく必要がある。	あり
透明性	B:比較的透明性を確保している	指定管理者と月一回の報告会と年度毎に報告会を実施し、業務内容の確認を行っている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	指定管理者との連携を強化するとともに、施設の改修や宿泊プランの増等により、利用者の増加を目指す。
休止・廃止となったときの影響	市民の憩いと安らぎの場が提供できず、観光の振興に寄与することも出来なくなる。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	施設の老朽化が課題であり、更新等を検討していく必要がある。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	050201020005	事務事業名	森林環境基金事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	森林整備及び保全を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	森林環境譲与税及び森林環境基金を活用し、森林経営管理のため、林地台帳地図等の整理、森林所有者への意向調査を行う。		
対象	森林計画区域		
目的	森林の適正管理を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	森林法、森林法施行令、森林経営管理法		

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.02	0.06	0.16	0.16	0.16	0.16
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	135,731	458,992	1,038,065	1,120,620	1,155,421	1,155,421
事業費計	11,348	2,084,740	5,736,300	6,651,166	11,911,000	11,911,000
フルコスト	147,079	2,543,732	6,774,365	7,771,786	13,066,421	13,066,421

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	11,348	3,340	637,000	5,000	5,071,000
フルコストー特定財源	135,731	2,540,392	6,137,365	7,766,786	7,995,421	7,995,421
事業費計ー特定財源	0	2,081,400	5,099,300	6,646,166	6,840,000	6,840,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】基金充当事業					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	4	4	4	4	4	4
単年度実績値	2	2	4	4		
前年比	-	100%	200%	100%	-	-
単年度達成率	50%	50%	100%	100%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	事業1件当たりのフルコスト					
単位	件/円					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	36,769.75	635,933	1,693,591.25	1,942,946.5	3,266,605.25	3,266,605.25
単年度実績値	73,539.5	1,271,866	1,693,591.25	1,942,946.5		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A:妥当性が高い	森林環境譲与税の使途に該当した事業を実施している。	なし
有効性	A:有効性が高い	将来の森林関係事業のため、森林資源の調査を実施している。	なし
効率性	B:比較的効率的である	事業費の大きい事業を行う際には入札等により業者決定しているため、コスト縮減が図られている。小額であり、専門性の高いものについては随意契約等で事務の簡素化が図られている。	なし
改革・改善プラン達成度	B:比較的改革改善効果がある	森林所有者に対して、利用意向調査を実施し、森林管理につなげていく。	なし
透明性	B:比較的透明性を確保している	毎年、市のホームページに森林環境譲与税の使途を公表している。	なし

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	森林環境譲与税や基金の活用方法について、森林所有者への利用意向調査を行っていくと同時に、森林境界明確化の為の候補図作成や危険木伐採等の実施可能な事業を行っていく。
休止・廃止となったときの影響	森林の適正管理が行えない。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	森林環境譲与税を有効に活用し、引き続き本市の森林経営に資する事業に取り組む必要がある。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	050201030002	事務事業名	水産業振興事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	水産業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	相生カキの安心・安全をPRすることで販売促進を行うため、ノロウイルス等の検査や補助金の交付を行う。		
対象	漁業者		
目的	漁業者の安定経営を目的とする		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.05	0.05	0.06	0.09	0.07	0.07
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	339,327	382,493	389,274	630,349	505,497	505,497
事業費計	1,000,000	3,000,000	5,500,000	500,000	500,000	500,000
フルコスト	1,339,327	3,382,493	5,889,274	1,130,349	1,005,497	1,005,497

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	2,000,000	4,500,000	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	1,339,327	1,382,493	1,389,274	1,130,349	1,005,497	1,005,497
事業費計ー特定財源	1,000,000	1,000,000	1,000,000	500,000	500,000	500,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】ノロウイルス等検査実施回数					
単位	回					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	25	25	25	25	25	25
単年度実績値	25	25	25	24		
前年比	-	100%	100%	96%	-	-
単年度達成率	100%	100%	100%	96%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	ノロウイルス検査1件あたりのフルコスト					
単位	円/件					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	53,573.08	135,299.72	235,570.96	45,213.96	40,219.88	40,219.88
単年度実績値	53,573.08	135,299.72	235,570.96	47,097.875		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	市の特産品である相生カキを地元で食べたい、提供したいというニーズは高く、相生産カキの育成等に市が関与することは妥当である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	食の安全安心を求める市民の要望に応え、相生カキの生産振興により漁業後継者の育成や、漁業者の保護につながった。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	定期的なウイルス検査や補助金交付はカキの品質確保の手段として適正である。	なし
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	定期的なウイルス検査や補助金交付はカキの品質確保として必要であり改善の余地は少ない	なし
透明性	B: 比較的透明性を確保している	ノロウイルス検査結果は消費者へ開示される。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	県や周辺自治体及び漁業等関係団体と連携しながら安定的な種カキの確保手段を検討していく。
休止・廃止となったときの影響	漁業者への支援がなく、市として代替施策が必要である。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	漁業協同組合や関係機関と連携し、引き続き水産業の安定的な経営を支援する。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	050201030005	事務事業名	水産物市場管理事業
まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち	施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり
基本施策	農林水産業の持続的発展	取り組み事項	水産業の振興を図る
部名	建設農林部	課名	農林水産課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	建物及び附帯設備の修繕等に対応するほか、指定管理者と連携し、水産物市場の適正かつ円滑な運営を図る。		
対象	地域水産物及び特産品の振興と販売促進		
目的	担い手漁業者の確保及び育成を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令	条例・規則・要綱 相生市立水産物市場の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則		

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.06	0.06	0.11	0.41	0.15	0.15
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	407,193	458,992	713,670	2,871,591	1,083,208	1,083,208
事業費計	30,362,936	34,033,210	8,129,566	1,207,412	1,559,000	1,559,000
フルコスト	30,770,129	34,492,202	8,843,236	4,079,003	2,642,208	2,642,208

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
フルコストー特定財源	30,170,129	33,892,202	8,243,236	3,479,003	2,042,208	2,042,208
事業費計ー特定財源	29,762,936	33,433,210	7,529,566	607,412	959,000	959,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】修繕件数					
単位	件					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	4	4	4	4	4	4
単年度実績値	3	2	2	0		
前年比	-	66.66%	100%	-	-	-
単年度達成率	75%	50%	50%	-	-	-

(2)コスト指標

指標名1	修繕1件あたりのフルコスト					
単位	円/件					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	7,692,532.25	8,623,050.5	2,210,809	1,019,750.75	660,552	660,552
単年度実績値	10,256,709.6667	17,246,101	4,421,618			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	C: 妥当性が低い	市の特色、魅力を発信している施設であるが、近隣においても類似する民間施設があり、行政が公の施設として、維持していく妥当性は低い。	あり
有効性	B: 比較的有効である	集客力があり、利用度の大きい施設である。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	指定管理者制度を活用し、民間の経営手法を用い、効率的な運営が行われた。	なし
改革・改善プラン達成度	A: 改革改善効果が高い	あり方を検証し、民営化へと運営形態を移行する方針を示すなど、見直しを図った。	なし
透明性	A: 透明性が高い	指定管理者から月次や年次報告として、運営状況等の報告を受けている。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	運営形態の見直しに向けた準備を着実に進める。
休止・廃止となったときの影響	

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	運営形態の見直しに向けた準備を着実に進める。

施策評価シート

年度

6

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり		
基本施策	農林水産業の持続的発展		
取り組み事項	森林整備及び保全を図る		
主管部局	建設農林部 農林水産課	関連部局	

めざす暮らしの姿

森林・林業を成長させ、持続性のある森林経営を確立する。

基本方針

森林の持つ多面的機能を最大限に発揮できる環境整備を図り、森林・林業の発展、森林資源の適正な管理や利活用を行う。

施策の方針

森林環境譲与税を利用した意向調査により、森林資源の調査を行う。
相生市立羅漢の里において、森林・林業と触れ合うことのできる教室の開催や施設の整備を行う。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.62	1.32	1.3	1.0	1.0	0.81
会計年度任用職員数	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.04
人件費計	4,334,400	10,229,654	8,569,113	7,175,779	7,414,840	5,935,302
事業費計	21,927,408	89,603,295	27,791,653	44,425,529	35,806,000	32,288,000
フルコスト	26,261,808	99,832,949	36,360,766	51,601,308	43,220,840	38,223,302

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金		40,000,000				0
県支出金						0
市債						0
その他	3,522,496	4,003,340	8,637,000	25,005,000	15,071,000	15,071,000
一般財源1	22,739,312	55,829,609	27,723,766	26,596,308	28,149,840	23,152,302
一般財源2	18,404,912	45,599,955	19,154,653	19,420,529	20,735,000	17,217,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	羅漢の里施設利用者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値		11,500	12,300	13,500	14,370	15,200
単年度実績値	12,123	15,074	18,037	16,744		
単年度達成率	-	131.07%	146.64%	124.02%	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	羅漢の里施設利用者数
前年度との比較	↓:低下
所見	コロナ禍後、回復傾向にあったが、令和6年度は減少に転じた。近隣市町の類似施設も同様の傾向にあるが、利用者の増加に向けた対策が必要である。

施策評価シート

年度

6

1. 基本情報

まちづくり目標	暮らしを支える都市機能の整ったまち		
施策	地域生産力の向上を目指すまちづくり		
基本施策	農林水産業の持続的発展		
取り組み事項	水産業の振興を図る		
主管部局	建設農林部 農林水産課	関連部局	

めざす暮らしの姿

農林水産業の持続的発展

基本方針

漁場環境の保全と養殖産業を推進し、漁業経営の安定化を図ります。

施策の方針

漁場の環境を保存し、「相生かき」の更なるブランド化を図るとともに、牡蠣、アサリなどの養殖産業を育成していくことにより、水産業経営の安定を図ります。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.27	0.27	0.37	0.79	0.46	0.22
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	1,832,367	2,065,463	2,400,524	5,533,064	3,321,836	1,588,705
事業費計	33,441,999	39,132,200	15,639,063	3,742,823	4,418,000	2,059,000
フルコスト	35,274,366	41,197,663	18,039,587	9,275,887	7,739,836	3,647,705

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	2,000,000	4,500,000			0
	県支出金					0
	市債					0
	その他	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
一般財源1	34,674,366	38,597,663	12,939,587	8,675,887	7,139,836	3,047,705
一般財源2	32,841,999	36,532,200	10,539,063	3,142,823	3,818,000	1,459,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	【量】牡蠣の出荷量					
単位	トン					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
単年度実績値	2,419	1,265	1,449	1,301		
単年度達成率	100.79%	52.7%	60.37%	54.2%	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	【量】牡蠣の出荷量
前年度との比較	↓：低下
所見	赤潮の発生により、牡蠣の出荷が遅れたため、出荷量は目標を下回った。

